

【放課後等デイサービス事業 第三者調査実施の概要】

- 利用者調査有効回答者割合 75%：配布数20世帯 回収数15世帯
職員有効回答者割合 100%：配布人数6名 回収6名
- 評価スケジュール：
利用者調査の実施：2024年11月～12月 職員調査の実施：2024年11月～12月
- 利用者調査 分析結果と今後の取組み
調査結果から良かった点を【強み】、改善すべき点を【弱み】として分析いたしました。

・ 1 環境・体制整備

【強み】 活動スペースが確保され、職員配置数が適切である。
また、生活空間・設備等の配慮は適切である。

*今後に向けて

ご利用者が安全に安心して過ごすことが出来、また活動に取り組めるよう環境の改善と職員の育成に努めていきます。

・ 2 適切な支援の提供

【強み】 ご利用者のご家族のニーズや課題を個別支援計画に反映し作成している。
個別支援計画に沿った支援が行われ、活動内容が固定化しないように工夫している。

【弱み】 他施設との交流や障害のない子供との関わる機会を設けていない。

*今後に向けて

ご利用者の個別性に配慮した個別支援計画のさらなる充実を図り、活動内容に反映させていきます。
そして、他施設・障害のない子供との交流の関してはご家族の要望等を確認しながら改善に努めていきます。

・ 3 保護者への説明等

【強み】 ご家族との面談やお迎え時にご利用者の状況を伝え合い、健康面や生活状況について共通理解している。

ご家族からの相談等に対し迅速に対応している。

個人情報取り扱いに十分注意している。

【弱み】 ご家族同士の連携の支援が十分になされていない。

*今後に向けて

ご家族からの相談・必要な助言を適切に応じられるよう職員の育成に努めていきます。

ご家族の要望を聞きながら、ご家族同士の連携支援体制を検討していきます。

・ 4 非常時の対応

【強み】 感染症対策が徹底して行われている。

【弱み】 防犯マニュアルが十分周知・説明されていない。

*今後に向けて

月1回の防災訓練（地震・火事・土砂崩れなど）は継続し職員の防災意識を高めていきます。

緊急時対応・防犯・感染症等のマニュアルの周知説明を、定期的に行う時期を決め毎年継続できる体制を整えます。

・ 5 満足度

【強み】 ご利用者は通所を楽しみにしており、事業所の支援に満足している。

*今後に向けて

ご家族の満足度に甘んじることなく、ご利用者の成長発達をご家族と共有共感できる支援に努めていきます。

- 職員自己評価 分析結果と今後の取組み

【強み】 活動プログラムは固定化しないよう工夫しており、ご家族向けの評価結果、ご意向等を業務改善につなげている。
個別支援計画はご利用者のご家族のニーズや課題を分析し、ご利用者の状況に応じて個別・集団活動を組み合わせて作成している。定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。個人情報の取り扱いに十分注意している。
非常災害時に備え、定期的に訓練を実施している。

【弱み】 職員間で支援開始前の打ち合わせはできているが、終了後の打ち合わせ、支援の振り返りの時間が取れていない。
ご利用者の主治医・医療機関との連絡体制が職員間で共有されていない。
活動内容・連絡体制等の情報をご利用者・ご家族に発信する機会、また防犯マニュアル・感染症マニュアルご家族に周知する機会が少ない。

* 今後に向けて

個別支援計画の作成・支援プログラムは、ご家族の要望・ご利用者の個別性を重視した立案を強化していきます。

支援開始前、終了後の職員間の打ち合わせを充実させ、ご家族・ご利用者の状況を共通理解し適切な助言と支援につなげていきます。様々な情報の発信方法を検討していきます。

5) 実施機関 島田療育センター

6) 作成日 2025年3月21日